

Economic Indicators

発表日: 2021年10月8日(金)

主要経済指標予定(2021年10月11日~10月15日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(10月11日~10月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
10月11日 (月)					
10月12日 (火)	8:50 9月貸出・預金動向 国内銀行貸出残高 (前年比)	—	—	—	+0.3%
	8:50 9月企業物価指数 (前月比)	+0.2%	+0.2%	0.0%~+0.5%	0.0%
	(前年比)	+5.9%	+5.8%	+3.5%~+6.2%	+5.5%
10月13日 (水)	8:00 10月ロイター短観 製造業DI 非製造業DI	—	—	—	
	8:50 9月マネーストック M2 (前年比)	+4.2%	+4.3%	+4.2%~4.5%	+4.7%
	M3 (前年比)	+3.9%	+3.9%	+3.5%~4.0%	+4.2%
	広義流動性 (前年比)	+5.0%	—	—	+5.2%
	8:50 8月機械受注統計 船電除く民需 (前月比)	+1.5%	+1.5%	▲1.8%~4.5%	+0.9%
	(前年比)	+15.7%	+14.1%	+9.7%~+21.9%	+11.1%
10月14日 (木)	13:30 8月鉱工業指数・確報 鉱工業生産指数 (前月比)	—	—	—	▲3.2%
	(前年比)	—	—	—	+9.3%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	▲3.4%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	▲1.1%
10月15日 (金)	13:30 8月商業動態統計・確報 小売業販売額 (前年比)	—	—	—	▲3.2%
	13:30 8月第3次産業活動指数 (前月比)	▲1.1%	—	—	▲0.6%
	(前年比)	0.0%	—	—	+2.0%

9月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比 +5.9% 中央値：同 +5.8%

9月の国内企業物価を前月比+0.2%、前年比+5.9%と予想する。前月比では、既往の原油価格の上昇が電気・ガス・水道に反映されることで国内企業物価を押し上げるだろう。前年比では、昨年同時期の落ち込みの裏が出ることで大幅な伸びが継続し、年内は+6%前後の伸びが続く見込み。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

8月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比 +1.5% 中央値：同 +1.5%

8月の機械受注(船舶電力除く民需)は、前月比+1.5%を予想する。非製造業の設備投資が停滞する一方、海外景気の回復を背景に業績改善が進む製造業が牽引役となることで、機械受注は回復基調を維持することが見込まれる。先行きについては、半導体不足や東南アジアにおける感染拡大を背景としたサプライチェーンの目詰まりが製造業の設備投資の下押し圧力となるものの、緊急事態宣言解除を受けた非製造業の持ち直しにより、全体としては設備投資の回復基調が続くだろう。

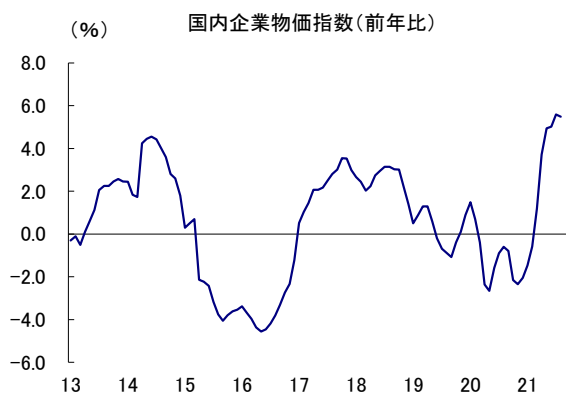
(主任エコノミスト：小池 理人)

8月第3次産業活動指数 当社予想：前月比 ▲1.1%

8月の第3次産業活動指数は前月比▲1.1%の低下を予想する。8月は緊急事態宣言の対象地域が全国的に拡大したことで、先月上振れていた宿泊関連や外食関連が落ち込むことに加え、感染拡大局面による購買意欲の低下により小売業、卸売業も低下するだろう。先行きは、9月も緊急事態宣言が継続していたことで、生活関連サービスを中心に低迷が続くとみられるが、10月以降は、感染者数の減少と緊急事態宣言解除により持ち直す可能性が高い。

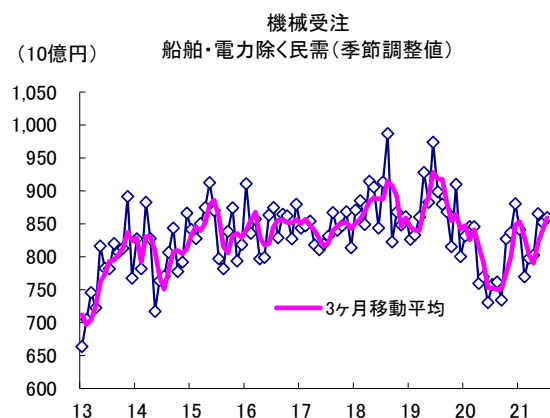
(副主任エコノミスト：大柴 千智)

図表1



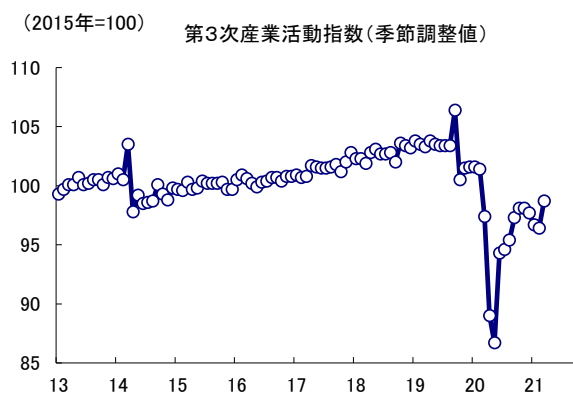
(出所)日本銀行「企業物価指数」

図表2



(出所)内閣府「機械受注統計」

図表3



(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。